時	ねらい	学習活動	評価規準	評価方法	資料および指導・援助
7 専制政治への不満	地租減額要求の中心となった黒田誠郎さんのその後の動きを見ながら，元士族の黒田さんが武力ではなく言論で訴えていこうとしていることを理解することができる。	1，　桑原輪中での地租の減額要求について振り返ってみる。 地租減額要求後，黒田誠郎さんは， どんな動きをとっていくのだろう？ 2，資料から課題について調べてまとめる。 ・　国会開設の署名運動に署名している。 ・　他の地域の人々と協力して，水利改修の懇願書を出している。 ・　黒田さんは，県会議員となり，治水工事をしてもらえるように訴えている。 ・　１８８４年からデレーケによる木曽三川分流工事がはじまっている。 3，黒田さんの生き方についてどう思うか発表する 4，黒田さんの子孫の方の話を聞き，感想をまとめる。	〈イー③〉 黒田さんの生き方について自分の考えを持っている。	○ノートの記述 自ら調べてノートにまとめてあるか分析する。 ○発言内容 発言内容から自分の考えを様々な視点から持っているか分析する。	◇「地租減額要求後の動き」（羽島中加藤所蔵） ◇「黒田さんの子孫の方の話」（羽島中加藤所蔵） ◎水害がよくおこる地域の人々の思いを考えながら自分の考えがまとめられるように援助する。 ◎仲間の発言内容についての思いを述べることを指導する。
		桑原輪中での地租の減額要求の中心人物だった黒田誠郎さんは，地租の減額要求却下の後は，河川改修を進めていくように他の地域の人と一緒に要求したり，自分自身が県会議員になって訴えたりしている。このような動きが実を結び，デレーケによる木曽三川分流工事が行われることとなった。このようにして武力ではなく言論で訴え，話し合う世の中になってきたんだな。			
8 自由民権運動の始まり	言論の力で変えていこうとしていく動きを通して，板垣退助や西郷隆盛という元参議がどのような動きをしていくのかを資料から読み取ることができる。	1，朝鮮への使節派遣問題をめぐって５人の参議が辞職。その中の板垣・西郷の生き方に注目してみる。 板垣退助と西郷隆盛は， どのようにして政府に反対したのか？ 2，課題について資料から調べて発表する。 「西郷隆盛の立場で」 ・　１８７７年，西郷を中心にして鹿児島の士族が西南戦争をおこした。 「板垣退助の立場で」 ・　政府が専制政治であると批判し，国民が政治に参加できる道を開くべきだと主張。民撰議院設立の建白書を左院に提出した。 3，２人の生き方についてどう考えるか，本時の感想をまとめる。	〈ウー②〉 自由民権運動のはじまりを資料からつかむ。	○ノートへの記述 ・自由民権運動のはじまりが読み取れているか分析する。	◇「おもな農民一揆と士族の反乱」（教科書） ◇「西南戦争」 （教科書） ◎それぞれの立場でなぜ，このような動きをしていったのかも考えていけるように助言する。 ◎前時の黒田さんも同じように自由民権運動にかかわっていたことを助言し，関わりをもたせる。
		朝鮮への使節派遣問題をめぐって辞職した板垣退助・西郷隆盛は，武力と言論で専制政治に対抗していこうと考えていた。しかし，他の士族と一緒に戦った西南戦争では，新政府の軍隊に倒されてしまい，結局，この後は，言論で訴えていく方法へと変わっていくこととなる。この後，どのようにして自由民権運動が広まっていくのかを調べていきたい。			
9 自由民権運動の広まり	自由民権運動がどのように広まっていったのかを資料から読み取ることを通して，自由民権運動は，国民の参政権の確立を目指した全国的な運動であったことを理解することができる。	1，前時を振り返り，本時の課題を設定する。 自由民権運動は，どのようにして 広まっていったのだろう？ 2，課題について資料で調べ，まとめてみる。 ・１８８０年　国会期成同盟を結成。政府に国会の開設を求めた。 ・自分たちで憲法を制定しようと民間で作成。 ・１８９０年に国会を開くことを約束。 ・自由党や立憲改進党を結成。 ・運動に対する政府からの弾圧がおこる。 3，板垣退助は，なぜ岐阜で遭難したのかを調べてまとめてみる。	〈エー②〉 どのようにして国会開設が約束されたのか理解している。	○発言内容 国会開設を約束するまでの道のりが理解できているか分析する。 ○ノートの記述 課題についての考えが資料に基づいて記述されているか分析する。	◇「板垣退助と遭難事件」（教科書） ◇「板垣遭難」（資料集） ◎各資料の情報を整理し，事実認識を援助する。
		１８９０年に国会開設が約束された後，自由民権運動は，自由党や立憲改進党が結成され，どんどん全国的な広まりを見せていった。そのような中で板垣退助が遭難するという事件も起きている。しかし，これらの運動に対して政府からの弾圧があり，少しずつ衰退していくことになったんだな。			

<table>
<tr><th>時</th><th>ねらい</th><th>学習活動</th><th>評価規準</th><th>評価方法</th><th>資料および指導・援助</th></tr>
<tr><td rowspan="2">10
国会の開設</td><td rowspan="2">大日本帝国憲法の特色を理解した上で　国会開設によって日本は，どのように変わったのか，今後の日本にどのような影響を与えたのかについて様々な立場から考えることができる。</td><td>１，１８８９年に作られた大日本帝国憲法は，どのような憲法なのかを調べてまとめる。
・　天皇主権，天皇は神
・　伊藤博文がドイツ憲法をもとに作成
・　皇族・華族等からなる貴族院と選挙で選ばれた議員からなる衆議院との二院制。
・　帝国議会開かれる。（１８９０年～）
国会の開設によって，日本はどう変わったか？

２，課題についてこれまでの学習を生かしながらまとめる。
・　制限があるとはいえ選挙が行われた。
・　国会で話し合いが行われるようになった。
３，単元を貫く課題について考えをまとめる。</td><td>〈イ－①〉
課題についての考えを仲間と交流し，深めている。</td><td>○交流の姿
仲間の考えを聞いての自分の思いを述べているか分析する。
○ノートの記述
課題についての記述内容の視点の広まりや深まりの程度を分析する。</td><td>◇大日本帝国憲法（教科書）

◎班内での交流において，互いに納得できるまで質問し合うこと指導する。</td></tr>
<tr><td colspan="4">日本は，約束どおり１８９０年に国会を開設するために前年１８８９年に大日本帝国憲法が作られた。この憲法は，天皇が主権者で，君主権の強いドイツ憲法を手本に作られていた。この憲法が作られたことにより，日本はアジアで最初の立憲制国家となり，国会が開設された後，国民が国政に参加する道が一部開かれてきたことになったんだな。</td></tr>
<tr><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>